



報道発表

2017年12月18日

イノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合の投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田 浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社クエステトラ（以下、クエステトラ）（本社：京都市中京区、代表取締役：今村元一）の株式を取得いたしました。

○クエステトラの株式取得について

クエステトラは、業務プロセス管理ソフトウェア「Questetra BPM(Business Process Management) Suite」の開発および BPM コンサルティングを主力事業とするベンチャー企業です。このソフトウェアには、京都大学大学院工学研究科の加藤直樹名誉教授の研究成果「知識発見支援ソフトウェア MUSASHI」で培われたアルゴリズムが広く組み込まれています。業務フロー図描画機能、作図機能や業務処理結果分析機能を搭載したクラウド型のソフトウェアであり、企業内の複雑な業務フローの可視化・改善を容易にすることができます。

業務プロセスの効率改善、業務コスト管理への関心の高まりや、管理情報の利活用シーンの増加を受け、BPM による業務改善アプローチが注目されています。日々刻々と変化する経営環境に合わせ、あるべき業務プロセスを業務システムに反映させ続けていくことが求められていますが、すべての社員が容易に作成でき、かつ拡張性の高い BPM ソフトウェアは、いまだに一般社会には普及していません。

そうした中、クエステトラはプログラミング知識やシステム知識は不要で、全てをブラウザだけで操作できるソフトウェアを開発することに成功しました。クエステトラのソフトウェアを用いることで社内の業務進捗を可視化し、業務プロセスを自社内の誰でも容易かつ継続的に改善し続けることが可能となりました。

現在、クエステトラは有料登録企業約 200 社にダイレクトにクラウドサービスを提供している他、金融機関・教育機関・航空会社等へのソフトウェア提供を行っており、今後の更なる事業拡大に向けて製品機能の改良・新機能の開発を実践しています。京都 iCAP では、このソフトウェアが、産業界の業務プロセスの可視化・効率化ニーズへ対応し、さらには品質保証や内部統制体制の構築にも寄与する可能性があるかと期待し、7,040 万円で同社株式を取得いたしました。



株式会社クエステトラ 概要

設立 2008年4月1日
事業内容 業務プロセス管理「Questetra BPM Suite」の開発
BPM コンサルティング
本社所在地 京都市中京区
代表執行役 今村 元一

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学に属する研究者による知（研究成果・技術等を含む）を事業化することを目的とする企業（共同研究企業からのカーブアウトを含む）へ、投資その他の支援を行うことを目的に、2014年12月に国立大学法人京都大学の100%出資子会社として設立されました。当社は、2016年1月に京都大学及び民間金融機関からの出資を受け、当社を無限責任組合員とする160億円のKYOTO-iCAP1号ファンドを組成いたしました。

当社では、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果を基に、その実用化を志向する大学発ベンチャーに対して、期間15年のファンド運用期間を活かして、シード・アーリーステージの段階から長期に亘る支援・出資を行ってまいります。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
京都大学国際科学イノベーション棟東館 4 階
投資部 プリンシパル 兼 広報統括責任者 河野修己
TEL : 075-753-5303 FAX : 075-753-7592
E-mail : info@kyoto-unicap.co.jp